

僕の頭の中はまた真っ白になった

ひさしぶりに、南北両側の窓を開けた。

風が部屋の中を素通りする。  
さわやかに感じた。

いい空気だ。

「そよ風とは、こんな風の事を言うんだろっうなあ」と思いつつ、伏見桃山の上にそびえる  
伏見城の方向を眺める。

再び、めしを食い、家を出る支度して、  
学校へ足を向ける。

暖かいので、毛糸のセーターを脱いで行った。

学校に着けば、一時半きっかりだった。

太陽がかんかん照っている。

少し、風邪ぎみで、また体がだるい。

沼田はん、草壁はん、西田はんの三人はお休み。

足の痛みや風邪のせいだそうだ。

僕も練習やめた方がいいと思ひ、  
加藤はんは許可をもらひ、  
すぐさま、引き返した。